

おおきみ

大宜味



広報 No.224

KOHO OGIMI 2013年11月1日



垂下式牡蠣養殖法考案者
世界の牡蠣王
宮城新昌氏と宮城一族の碑

大宜味村と石巻市の絆 顕彰碑再建

日時:10月13日
撮影場所:宮城県石巻市萩浜

石巻市に宮城新昌氏の顕彰碑再建



東日本大震災から2年半経過しましたが、被害にあった地域や住民は、いまだ厳しい生活を強いられています。大宜味村出身で宮城県石巻市からカキ養殖を広めた宮城新昌さんの顕彰碑も被害にありました。村は平成24年12月、島袋村長・金城村議会議長を共同代表に各種団体長、一心会会長、根路銘郷友会会長等の協力の下、宮城新昌顕彰碑建立再建大宜味村委員会を発足しました。村内外から寄付金を集め、7月に石巻市萩浜の関係者に手渡し、石巻市役所萩浜支所の跡地に新たに顕彰碑が造られ、10月13日除幕式が開かれました。式には萩浜の漁協関係者やカキ加工業者、宮城氏の一族など約80人が集まり、村からは島袋村長ら13人が参加しました。新しい顕彰碑は高さ約2・5メートル、カキをかたどっていて、壊れた顕彰碑と同じ場所に飾られ、新旧の顕彰碑の間には石巻市と大宜味村の絆を示す説明板が設置されました。顕彰碑の完成で、復興に向けて新たな出発を切り、石巻市と大宜味村は改めてつながりを強めました。



村と石巻市の絆の石碑



顕彰碑除幕式記念植樹を植える村長ら



東日本大震災による大津波で壊された旧顕彰碑

大宜味村立小学校統合新設・ 中学校移転計画が始まりました

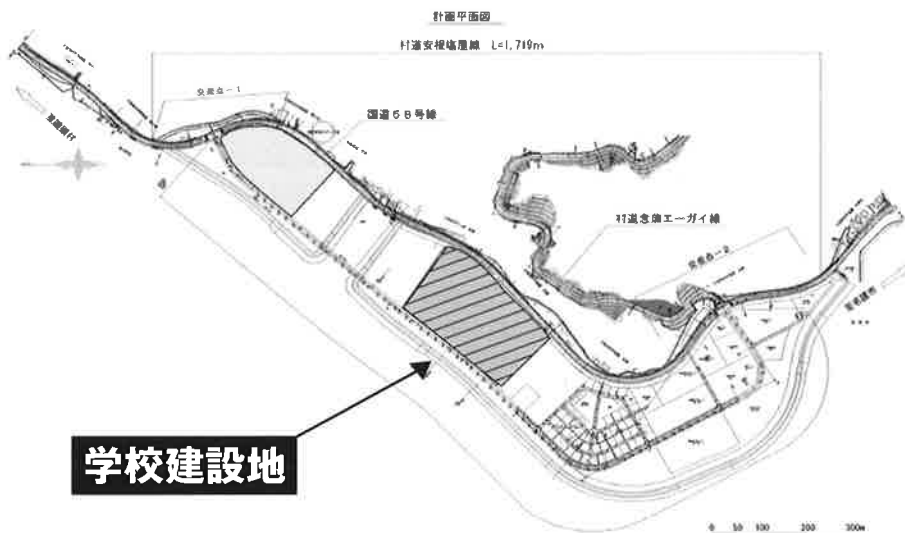
大宜味村役場内第1会議室にて、大宜味村立小学校統合・中学校移転計画推進委員会が10月16日に始まりました。平成25年9月4日に、基本計画・基本設計業務を委託発注し、本業務の基本となる施設配置、学校安全、防災対策、そして学校開放施設や将来に向けた教育環境の計画を今回の推進委員会で確認検討し、推進していきます。

教育委員会では、「児童数の減少により複式学級での指導を余儀なくされ、学習面での大きな支障や制約を来している現状を踏まえ、小規模校が抱える課題を抜本的に解決していくために小学校統合新設を決定しました。中学校においては施設の老朽化に伴い極めて危険な状況にあり、現施設での課題も多い。小・中学校を一体的に整備し、小・中学校連携による教育施設の集約化を図り、本村の教育効果を高め、さらに安全・安心な学校を建設し、よりよい教育環境の整備を図るための事業に着手しているところですので」と考えを述べました。

村では平成25年1月に教育委員会から、「結の浜土地利用計画の見直しについて」の要請を受け、埋立土地利用計画

班での検討及び、むらづくり検討委員会への説明を行い、庁議において埋立地北側に計画されていた学校用地を中央部へ移すことで最終決定し、9月付で県知事の許可を受けました。

●学校用地決定について



学校建設地



結の浜地区北側に計画していた学校用地を、埋立地中央部へ変更決定し、平成28年4月開校に向けて現在作業を進めております。

ホップ! ステップ! ジャンプ! やんばるの地域力大集合 ～地域・地産・地消～



シークワサー産地振興協議会のブースでお客様を魅了中

第29回やんばるの産業まつり(主催:北部振興会)が10月12、13日の両日、名護市21世紀の森体育館を主会場に開催されました。会場では、北部市町村の農産物や加工品などの特産品、各企業や団体の活動をPRするブースが設けられ、多くの人で賑わいました。大宜味村からは一心工房や涌井陶芸(株)沖繩村上農園、(株)ブルーオーシャンズ、村農山漁村生活研究会などが出店していました。屋外でのステージイベントではアトラクション出演で屋古フラガールズ、伝統芸能では根路銘区婦人会による踊りが披露されました。

平成24年度大宜味村一般会計・特別会計決算審査意見書(抜粋)

審査意見 大宜味村監査委員 前田國男、大城佐一

審査の結果、一般会計、各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、関係帳簿及び証拠書類と照合し、決算審査基準並びに審査主眼に基づいて審査した結果、地方自治法施行令第143条第1項第4号に抵触するものが見受けられた。決算計数に誤りはなく、予算の執行はその目的に添って執行されており、それぞれの事務事業は厳しい財政状況の中にもかかわらず積極的な財政運営がなされ、予算執行の面でも効率的な執行の努力がなされており、おおむね所期の成果をおさめているものと認めた。

一般会計においては、厳しい財政事情の中で財政収支の均衡保持に努めた結果である。しかしながら、財政諸指数からみるとなんとか健全財政を維持しているところであり、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率を見ると本村の財政構造に硬直化が進みつつあることを真摯に受けとめ自覚すべきである。今後とも健全財政の維持に積極的な努力を重ね村勢の振興発展に努力されたい。村民の所得の向上あるいは福祉の向上のための、農林水産業の基盤整備をはじめ道路の整備、企業支援施設整備事業、「人材を以て資源となす」という村是の基に創設された人材育成基金を活用した事業やその他の事業が計画・執行されたことは当局の努力及び議会と村民の理解・協力によるものと評価する。平成24年度の執行率は63.4%となっているが、主に企業支援施設整備事業、結の浜公園整備事業及び災害復旧事業の翌年度繰越によるもので、この事業の執行にあたっては万全を期されたい。また、村税においては多額の不納欠損額と収入未済額、負担金、使用料の収入未済額、財産収入の多額の収入未済額、そして学校給食費の収入未済額があることは遺憾である。村税をはじめとする自主財源は、歳入の主たる源泉であり、滞納額については「債権」として認識し、積極的に滞納整理を進めることは善良な納税者の負担に応えるべき執行当局の責務である。

尚、当年度にあたっては、個別訪問や預金口座差押え等を行い、徴収に積極的に取り組みをして、成果をあげていることは評価する。また、村税等収納率向上対策本部を積極的に開催し、収納率向上に全庁挙げて取り組みされたい。今後とも、税や負担金等の自主財源の確保のために収入未済額の解消と発生防止に最大限の努力をされるよう強く望む。村税に係る不納欠損処分については、関係法令に則り、適正に処理されているものと認められた。善良なる納税者との均衡を考慮し、処分にあっては厳正に対処されたい。

国民健康保険税において多額の不納欠損額と収入未済額があることは、誠に遺憾である。保険税の収入未済の増加は社会保障制度の根幹を揺るがしかねない問題であり、住民の税負担に対する公平性及び国民健康保険制度の安定的運営を期すために、滞納者に対する実態調査に基づき、文書及び電話での催告や個別訪問等取り組むことは勿論のこと、未申告者への啓発を徹底し、悪質な滞納者に対しては毅然たる態度で対応するなど、未収金の縮減に向けた努力をされるよう強く望む。医療費増額の抑止策として、村民の健康保持対策をはじめ、健康づくりの施策、ジェネリック医薬品の推奨等積極的に展開し、より一層効果のある取り組みをされたい。

さらに、特定健診の受診率等によっては国保会計の歳出の後期高齢者支援金に加算率又は減算率により支援金が増額又は減額されることがあることから、特定健診、特定保健指導への強化を図り、減算率により支援金が減額されるよう努力されたい。

簡易水道事業特別会計は、村民の日常生活に直結し、公衆衛生の向上と生活改善に欠くことのできないものであり、漏水管修繕等鋭意実施され、今後とも清浄で豊富低廉な生活用水の供給に努力して、万全を期されたい。なお、一般会計からの繰入金があるが、独立採算性を原則とし、水道使用料の滞納額が不納欠損に陥らないよう収納に努力されるよう強く望むものである。

公共下水道事業特別会計は、地域住民の生活環境の改善を図るとともに、河川、海域等の公共用水域の水質を保全するため設置されたものである。将来的な健全財政の基盤づくりも見据えながら一層努力されたい。

後期高齢者医療特別会計については保険料に収入未済額は無く、今後も維持し健全化にむけ努力されたい。

予算の執行について

一般会計

ア、歳入の状況

歳入決算額は、当初予算額25億5,826万3千円に補正予算額13億3,159万円と繰越事業費16億2,093万8千円(防災行政無線整備事業、大宜味村企業支援施設整備事業等)を加えた予算現額は55億1,079万1千円で、調定額42億9,441万9,812円に対して収入済額は41億1,035万2,047円でその収納率は95.7%、対前年度比で1.9%上昇している。不納欠損額は1,416万3,564円で、前年度に対して1,234万3,060円(678%)の増となっている。収入未済額の1億6,990万4,201円は対前年度比で1,106万8,453円(6.1%)の減となっている。現在のところ、多額の収入未済額があることを厳しく認識し、将来へ向けて健全財政を維持できる体制づくりに万全を期されたい。また、不納欠損処分を行う場合は、多数を占める善良なる納税者との均衡を考慮し、時効中断または時効停止等の措置をとるなど最大限の努力を行い、納税者の税負担に対する公平と信頼感を損なうことのないよう全力を挙げて取り組むべきである。

歳入決算額の収納率の状況は第25表のとおりである。

イ、歳出の状況

歳出決算額は、当初予算額25億5,826万3千円に補正予算額13億3,159万円と繰越事業費16億2,093万8千円を加えた予算現額は55億1,079万1千円となり、支出済額は34億9,274万4,144円で、その執行率は63.4%で前年度に比べ3.3%上昇している。翌年度繰越額は15億331万7千円(結の浜公園整備事業、企業支援施設整備事業、災害復旧事業等)となっている。

不用額は5億1,472万9,856円で、前年度に比べ4億1,273万2,302円(404.6%)増加している。不用額の中には未執行のものも含まれており、執行残や未執行のものについては現状を十分掌握し、予算補正で対処されたい。

歳出決算における執行率の状況は、第28表のとおりである。

平成24年度不納欠損内訳表

(単位:円)

	住民税		法人税		固定資産税		軽自動車税		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H17年~H18年					11	115,135			11	115,135
H19年~H22年	38	537,951	4	200,000	902	7,088,366	64	318,500	1,008	8,144,817
H23年	37	434,069			391	2,976,800	31	159,332	459	3,570,201
H24年	51	527,439	3	281,600	496	6,936,953	51	279,100	601	8,025,092
合計	126	1,499,459	7	481,600	1,800	17,117,254	146	756,932	2,079	19,855,245

第1表 会計別歳入歳出決算額

(単位:円)

会計名	予算現額	決算額			翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
		収入済額	支出済額	差引残額		
一般	5,510,791,000	4,110,352,047	3,492,744,144	617,607,903	127,197,000	490,410,903
国保	639,005,000	680,981,421	616,003,382	64,978,039	0	64,978,039
簡水	169,953,000	170,518,621	160,975,350	9,543,271	0	9,543,271
下水	10,940,000	11,216,808	9,562,880	1,653,928	0	1,653,928
後期	37,446,000	37,165,662	36,890,098	275,564	0	275,564
合計	6,368,135,000	5,010,234,559	4,316,175,854	694,058,705	127,197,000	566,861,705

第25表 歳入決算額の収納率の状況

(単位:千円・%)

区分	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
	決算額	収納率	決算額	収納率	決算額	収納率
1款 村税	169,373	83.3	176,575	84.7	185,534	89.0
2款 地方譲与税	26,148	100	26,855	100	27,623	100
3款 利子割交付金	796	100	498	100	482	100
4款 配当割交付金	123	100	119	100	95	100
5款 株式等譲渡所得割交付金	32	100	31	100	37	100
6款 地方消費税交付金	22,814	100	23,118	100	23,905	100
7款 自動車取得税交付金	5,363	100	3,823	100	4,955	100
8款 地方特例交付金	304	100	6,180	100	5,523	100
9款 地方交付税	1,507,047	100	1,459,076	100	1,504,801	100
10款 交通安全対策交付金	993	100	978	100	974	100
11款 分担金及び負担金	15,777	98.8	13,778	97.5	13,767	98.2
12款 使用料及び手数料	42,463	81.5	42,411	80.5	37,726	78.3
13款 国庫支出金	778,411	100	193,992	100	691,380	98.5
14款 県支出金	246,315	100	151,937	100	120,014	99.7
15款 財産収入	37,401	44.2	42,427	47.3	11,618	19.7
16款 寄附金	1,920	100	568	100	820	100
17款 繰入金	693,509	100	155,272	100	97,674	100
18款 繰越金	161,609	100	171,293	100	81,684	100
19款 諸収入	96,946	51.1	111,858	54.6	181,226	65.9
20款 村債	303,004	100	177,453	100	368,349	100
歳入合計	4,110,352	95.7	2,758,245	93.8	3,358,189	94.8

第28表 歳出決算額の執行率の状況

(単位:千円・%)

区分	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
	決算額	執行率	決算額	執行率	決算額	執行率
1款 議会費	63,510	99.5	72,268	99.7	53,292	97.2
2款 総務費	515,753	96.4	475,624	91.1	415,212	96.1
3款 民生費	627,690	99.0	530,702	99.3	526,865	99.3
4款 衛生費	319,094	99.0	342,678	96.8	465,566	91.7
5款 労働費	0	0	0	0	0	0
6款 農林水産業費	284,579	96.3	182,451	91.7	148,564	94.5
7款 商工費	605,493	31.9	27,751	1.8	35,154	95.5
8款 土木費	189,430	77.6	128,370	99.1	740,514	96.6
9款 消防費	140,509	82.6	145,299	96.8	120,733	100.0
10款 教育費	247,615	98.0	246,353	98.5	257,568	97.4
11款 災害復旧費	156,092	54.3	49,266	69.7	13,891	95.1
12款 公債費	256,554	99.8	258,305	99.6	275,476	99.7
13款 諸支出金	86,420	99.8	137,563	97.2	134,060	100
14款 予備費	0	0	0	0	0	0
歳出合計	3,492,744	63.4	2,596,636	60.1	3,186,895	94.0

大宜味村に車椅子の寄贈

10月10日、大同火災海上保険株式会社から常務取締役 濱田剛さん、営業第二部北部支社長 新城匡博さんによって大宜味村へ車椅子の寄付がありました。大宜味村への寄贈は本年度3回目、延べ3台目になります。

同社の車椅子寄贈は平成2年5月、新聞紙上への「救急診療所の車椅子が不足している」との投稿をきっかけとして、その年の7月、那覇市救急診療所へ車椅子を寄贈したことに始まります。以来、社会貢献活動の一環として、毎年継続して県内各自治体・団体へ車椅子の寄贈を行っています。平成2年から23年で延べ809台の車椅子を寄贈してきました。



左から住民福祉課長 大城武さん、大宜味村長 島袋義久さん、常務取締役 濱田剛さん、北部支社長 新城匡博さん

一心会運動会で交流

第47回大宜味一心会親睦大運動会が10月13日、北谷屋内運動場で開かれ、村出身者や村在住者らがグラウンドゴルフや各種リレーなどの種目に汗を流しました。また、職域対抗リレーでは大宜味村PRキャラクター「おおぎみシーちゃん」と「ぶながや」が青年会チームに入り、見事な走りを見せてくれました。



「千変万化リレー」トップでゴールする大保チーム



ぶながやとシーちゃんが共にゴールを目指す

国頭郡陸上競技大会

第50回国頭郡陸上競技大会が10月20日、金武町陸上競技場で行われました。北部9町村から出場し、大宜味村からは選手・監督・スタッフ総勢約50名でのぞみました。

今大会では一般男子ハンマー投げで安里瞬選手(饒波)が大会記録にあと1mと迫る投てきで優勝となりました。また、応援に駆けつけた村民の声援が、選手団の活躍を後押ししました。県民大会は11月23・24日に浦添市陸上競技場で行われます。



ハンマー投げ出場の安里選手

国頭郡陸上競技大会優勝者		
種目	選手名	記録
一般男子 ハンマー投げ	安里 瞬	49M17

謝名城

豊年踊り

10月12日、謝名城豊年踊りが同区公民館で行われ、琉球古典音楽を取り入れた伝統舞踊を中心に16演目が披露されました。同区自慢の踊り「平和」「七福神」「高砂」を始め10年ぶりの上演となる史劇「蒙雲国師」や、郷友会による空手演武や舞踊家による洗練された舞踊等多彩な演目が上演され、区民の親睦と融和、五穀豊穡が祈願されました。



笑いとアクションで多くの人を魅了した「蒙雲国師」

大宜味村南米移住者子弟研修生受入事業

ディエゴさんからのメッセージ

【スペイン語】

Gracias por mostrarme tanta belleza.
Deseo salud y Felicidad para toda la gente de Okinawa.

たくさんの方々に出会って、美しい沖縄を見ることができました。ありがとうございます。
沖縄の人々がずっと健康で幸せであることを祈っています。

平成25年度の村南米移住者子弟研修生受入事業でアルゼンチンより、塩屋区出身の宮城力さんの子、服飾デザイン志望の宮城大（宮城 ディエゴマルティン）さんが、研修生として、8月7日から10月31日まで、村内（陶藝玉城・代表 玉城望）・喜如嘉芭蕉布事業協同組合・理事長 平良美恵子）、名護市（藤崎紅型工房・代表 藤崎眞）などで研修を受けました。研修を受けながら、村内各行事へも参加し、大宜味文化へふれながら、たくさんの方々の皆様との交流を行いました。ディエゴさんは「海が綺麗で感動した。アルゼンチンにはない踊りやエイサー、ハーリーが夏まつりや各区の豊年祭で見れたことが、とても印象に残っている」と振り返りながら話していました。



研修受入式・歓迎会(8月14日)



陶藝玉城・組合員のみなさん(8月29日)



藤崎紅型工房にて(9月13日)



生涯学習センターにて(8月16日)

お知らせ

暮らしに役立つ
情報コーナー

平成25年度 宝くじ助成事業

津波区では、平成25年度宝くじ助成事業（一般コミュニティ助成事業）の助成を受け、スピーカーやマイクなど音響一式、芝刈り機やチェーンソーなどの作業器具を購入しました。

宝くじの助成で購入した備品でより充実した地域活動に役立てていきます。



名護税務署からのお知らせ

記帳説明会の開催について

個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方は、平成26年1月から記帳・帳簿等の保存が必要となります。

名護税務署では、記帳説明会を開催します。参加は無料です。

会場の関係上、出席希望者は、北部青色申告会へ電話連絡願います。

日時 11月6日(水)、7日(木)、8日(金)
●午前10時～正午 ●午後2時～4時

開催場所 名護税務署 1階 会議室
名護市東江4-10-1
※なお、駐車場が狭隘なため、車での来署はご遠慮ください。

【問い合わせ先】 北部青色申告会
☎0980-53-3331

小児のインフルエンザ予防接種について

小児のインフルエンザ予防接種について、接種費用の一部助成を行います。

対象者 大宜味村に住所を有する、
生後6カ月児～中学3年生まで

助成額 1人につき2,000円(1回のみ)

接種期間 平成25年10月1日～平成26年2月末日まで

申請期間 平成25年11月1日～平成26年3月末日まで

支払方法 医療機関で自己負担した後、役場で申請を行い口座へ振り込まれます。

申請時必要書類 領収書、印鑑、
振込口座がわかるもの(通帳等)

【問い合わせ先】 大宜味村役場 住民福祉課
保健衛生係 ☎0980-44-3003



NO! 滞納 県税市町村税の納め忘れはありませんか?
沖縄県と県内41市町村は、税の公平・公正を確保するため、計画して企業一斉に徴収強化しています。滞納者に対し、財産の差押など滞納処分を集中的に行います。

県税市町村税 徴収強化月間 11.1▶12.31

沖縄県・県内41市町村



【問い合わせ先】
大宜味村役場 財務課
☎0980-44-3002

いぎみクイズ

村には17の区があり、それぞれに公民館が建てられています。その中で根路銘区公民館には一文字だけある文字が刻まれています。その文字は何でしょう？



①根 ②黄 ③金

*答えは今月号のシーちゃんが知っているよ。どこにいるか、探してみよう!!

がんばって
みつけてね!



満1歳お誕生日おめでとう!!

(タンカー祝い)

世界にたったひとつだけのスマイル!



山城 八雲くん(宮城)

【平成24年11月25日生】

輝く未来の大宜味っ子! 明るく・元気で・素直にすくすく育ててね

村の人口

9月末現在

男	1,710人	(-2)
女	1,600人	(-5)
計	3,310人	(-7)

世帯数 1,660世帯 (-5)

出生 2人 転入 4人
死亡 5人 転出 8人

※注()内数は対前月比

名護警察署長賞

江田 唯奈(津波小学校6年生)

名護地区交通安全協会会長賞

知念 珠里亜(喜如嘉小学校3年生)

照屋 咲月(大宜味中学校3年生)

村交通安全推進協議会入賞

川村 海(喜如嘉小学校5年生)

金城 まひろ(大宜味小学校3年生)

吉本 悠菜(大宜味小学校4年生)



交通安全作文コンクールで表彰を受けた方々

前原 颯奈(塩屋小学校3年生)

玉城 萌香(塩屋小学校6年生)

照屋 希紗乃(津波小学校3年生)

平成25年度
大宜味村交通安全推進
村民大会受賞者

11月11日 November 11月1日~12月10日 December

大宜味村カレンダー



1 金	◆区長会 ◆家庭学習強化期間 ~11月 ◆おおぎみ展(大小)~3日
2 土	
3 日	文化の日 ◆塩屋小わくわく塩屋っ子タイム
4 月	振替休日
5 火	振替休日(塩小)
6 水	
7 木	
8 金	◆第5回わんぱく体験団 夕方~
9 土	◆第25回ツール・ド・おきなわ2013 ~10日
10 日	◆親子ふれ合い体験学習(大小)
11 月	振替休日(大小)
12 火	
13 水	
14 木	◆幼・小・中一斉授業参観日② ◆津波小学習発表会
15 金	◆秋の遠足(幼)
16 土	◆国頭地区ミニバスケットボール交歓会 ~17日
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	◆国頭地区健康教育研究大会(喜如嘉小)
21 木	

22 金	◆乳幼児検診
23 土	勤労感謝の日 ◆県民体育大会 ~24日
24 日	
25 月	振替休日:大宜味中(30日)
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	◆国頭地区中学校総合文化祭 ◆国頭地区中学校音楽発表会 ◆しまんちゆ芸能
12月 December	
1 日	
2 月	◆区長会
3 火	
4 水	◆県学力到達度調査(小)
5 木	◆県学力到達度調査(中) ~6日 ◆修学旅行 塩屋小(~6日)
6 金	◆生活発表会(幼)
7 土	
8 日	◆村成人スポーツ大会
9 月	◆標準学力検査(~20日)
10 火	◆大宜味中修学旅行 ~13日

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内あれこれ



絵画寄贈



赤土流出防止イベント(平成25年3月6日)の一環で、結の浜に展示された「赤土ザウルス」発起・製作のデザイナー、住友JINさん寄贈の人間国宝平良敏子氏を描いた油絵が10月2日、村芭蕉布会館にて村長より手渡されました。

平成25年全国地域安全運動名護地区大会



10月9日に名護市民会館にて、全国地域安全運動名護地区大会(主催:名護警察署・名護地区防犯協会)が開かれ地域代表として、村青年団協議会会長 津波古達功さんが「安全・安心なまちづくり」へ向けて決意表明を行いました。

シークワサーレシピコンテストの受賞作品 商品化



キンビールマーケティング沖縄社が今年6月に実施したシークワサーレシピコンテストのグランプリ受賞作品を商品化、ローソン沖縄は10月8日、原料に大宜味産シークワサーを使った3商品を県内158店舗で発売します。発売当日、ローソン内間4丁目店でシークワサー産地振興協議会のメンバーとおおぎみーちゃんで新商品をPRしてきました。

キラリのおおぎみ

峠の麵処「江洲の花」



大宜味村字江洲に大宜味産和そば(日本蕎麦)の味わえる、峠の麵処「江洲の花」があります。今回、150店舗以上の登録がある『おきなわ食材の店』に「江洲の花」が認定されました。

おきなわ食材の店とは沖縄県産食材を積極的に活用し、沖縄食材の美味しさや魅力を伝える飲食店などを登録しています。「江洲の花」で営む中島夫妻は東京出身の方で「以前から健康に関心があり、自然食を多く取り入れている沖縄にも興味があった」と話していました。

平成23年12月11日にオープンした当初から、店内には「ざる蕎麦セット」「うどんセット」「おまかせセット」があり、人気メニューはざる蕎麦セット。料理には村内の農家さんが作ったものや自らの畑から収穫した食材(ゴーヤー、ハンダマ、かぼちゃ、ニンジン)を使った前菜、薬味、天ぷらが付いていて、和蕎麦だけでなく地元の食材も頂けます。

お客さんのほとんどがリピーターで那覇から大宜味まで食べに来る方もいます。中島さんは「お客さんの笑顔の為に作っている。季節によって変わる旬の野菜を取り入れて、たくさんの人を喜ばせたい」と語りました。

平成25年度 赤い羽根共同募金運動出発式



村役場庁舎前で赤い羽根共同募金運動出発式(主催:沖縄県共同募金会大宜味村共同募金委員会)が開かれました。同運動は10月1日~12月31日まで行われており、集まった募金は老人福祉活動や児童・青少年福祉活動、障害児・者福祉活動、母子・父子福祉活動事業など地域のいろいろな活動のために役立てられます。出発式当日は、村内の小・中・高等学校や役場、各区事業所へ担当毎に訪問しました。

